

コース名		科目名			対象学年			
良医の礎		発表の技法			1			
開講学期		科目責任者		副責任者		全体資料		
2 学期		辻 修平				無		
授業到達目標								
1. コンピュータの基本的な操作が行える。 2. インターネットを利用するにあたり、適切な振る舞いができる。 3. Microsoft Word を用いて文書作成が行える。 4. Microsoft Excel の基本的な機能が使え、データ処理からデータの可視化まで行える。 5. Microsoft PowerPoint を用いて発表用の資料を作成し、適切な発表まで行える。								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1-2	9/ 6	金	5-6	演習	辻・桶井 松本宏	自然	Microsoft Word の基本的な使い方：文字入力、フォント、書式、文書レイアウト、図や表の挿入、演習	A-9-1)-3
3-4	9/27	金	5-6	演習	辻・桶井 松本宏	自然	Microsoft Excel の基本的な使い方：セル入力、表の編集、グラフの作成、演習	A-9-1)-3
5-6	10/ 4	金	5-6	演習	辻・桶井 松本宏	自然	Microsoft Excel の基本的な使い方：簡単なデータベースの操作、フィルター、複数シート、演習	A-9-1)-3
7-8	10/11	金	5-6	演習	辻・桶井 松本宏	自然	Microsoft Excel の基本的な使い方：関数の使い方、演習	A-9-1)-3
9-10	10/25	金	5-6	演習	辻・桶井 松本宏	自然	Microsoft Excel の基本的な使い方：関数の使い方、演習	A-9-1)-3
11-12	11/ 8	金	5-6	演習	辻・桶井 松本宏	自然	Microsoft Excel の基本的な使い方：複合グラフ、ピボットテーブル、演習	A-9-1)-3
13-14	11/15	金	5-6	演習	辻・桶井 松本宏	自然	Microsoft PowerPoint の基本的な使い方：フォント、配色、デザイン、オブジェクトの挿入、文書構造、プレゼンテーションの基本	A-4, A-9-1)-3
15-16	11/22	金	5-6	演習	辻・桶井 松本宏	自然	Microsoft PowerPoint の応用：プレゼンテーション課題の作成	A-4, A-9-1)-3
17-18	11/27	水	6-7	演習	辻・西松 大橋武・渡辺 桶井・吉岡 守山・小島 松本宏	自然	プレゼンテーション課題の発表会	A-4, A-9-1)-3
評価方法								
[レポート]60% (演習課題を提出し、その内容で評価する。) [プレゼンテーション]40% (プレゼンテーション課題の発表会における発表内容・態度と、最終的に提出するプレゼンテーション資料で評価する。) [評価方法]論文・レポート、プレゼンテーション評価 [備考]課題・レポートは基本的にコンピュータ上で作成し、デジタルデータで提出する。デジタルデータはコピーが容易であるが、バイナリで他者のレポートと一致した場合 (他人のデータをコピーし、完全一致するファイルの場合)、そのファイルは受け付けられないものとする。								
課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて								
課題・レポートの評価を行った後、課題・レポートの返却は行わないが、評価点が 60 点未満の学生についてはレポートの解説やサポートの後に再提出を求める。レポートに関する解説は講義の中で行う。								
教科書								
ISBN-9784865100716, 情報リテラシー—情報モラル&情報セキュリティ, 富士通エフ・オー・エム株式会社, 富士通オフィス機器, 2013/12/01								
参考書								
別途、参考書は必要ないが、Microsoft Office (Word、Excel、PowerPoint) 関連書籍を参考にしてもよい。								
準備学習 (予習・復習等)								
予習：教科書を事前に読んでおくこと。 復習：演習課題を自分の手で作成すること。 予習・復習ともに 30 分~1 時間程度の時間を要する。								
講義についての注意事項								
コンピュータや Office ソフトウェアに不慣れな学生にウェイトを置いた授業を行う。 コンピュータを使った演習が中心なので、自分の手を動かしてコンピュータやソフトウェアの使い方の習得を目指し、また分からない点がある場合は授業中に積極的に質問すること。								

昨年度からの変更点・改善項目

(特になし)

学生の受け入れ方針や卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

本科目履修には入学までにコミュニケーション能力が備わっていることが望ましい。本科目では臨床医としての基本であるEBM 実践や医学・医療分野の情報収集法およびプレゼンテーションの基礎を学び、2年次の情報活用と組織行動履修へと続く学問である。

ナンバリング

GAPT109